

第三者評価の受審実績（過去 5 年間）		平成 21、22、23、24、25 年度	
取材の対象年度	平成 24 年度	評価手法	標準の第三者評価

【取材メモ】



取材の視点

- ・第三者評価受審の目的、経緯
- ・事業評価（自己評価）のプロセスで得られた気づき
- ・利用者調査、職員の自己評価及び評価機関による評価の結果から得られた気づき
- ・改善に向けた取り組みとその成果、など

■事業所の特色

当事業所は平成 11 年、同じ建物に特別養護老人ホーム（1 階）と老人保健施設（2、3 階）が合築されるという当時としてはめずらしい形で開設しました。その他、デイケア、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターが併設される地域の総合的な介護拠点となっています。

当法人では、『一緒に笑顔を増やしていこう!! (Get Smile Together)』を合言葉に、利用者を“ゲスト”と呼んでいます。

当事業所の副施設長は、併設する特養の施設長を兼務しています。東京都の「認知症介護指導者」として、所属する事業所での人材育成のほか、地域における認知症ケアの向上に一定の役割を担っています。その一環として、地元の FM 局が展開する「認知症予防キャンペーン」の特別番組に出演し、専門的見地から認知症及び認知症介護に関する話を分かりやすく市民に伝えています。同局には、当法人が月 1 回 30 分の冠番組を持っており、職員が交代でパーソナリティーを務め、市内の高齢者支援活動に関する情報を多角的に紹介しています。

当法人では、利用者を中心としたケア（パーソン・センタード・ケア）を目指すとともに、利用者がもともと持っている力に着目し、それを引き出すことで利用者が自らの生活の主体となるための支援に取り組んでいます。そのためには、利用者に関する“事実に基づく”情報を組織的に積み上げていくことが大切と考え、副施設長が考案したのが、右のシートです。職員の気づきをさらに詳しく分析するシートと組み合わせることで効果を上げていると言います。

資料 1 気づいちゃったシート				
平成 年 月 日 ()				報告者
ポジティブ		ネガティブ		氏名
いつ	何時ごろ レク時	食事中 入浴中	おやつ時 トイレ	できれば時間を記入 その他
どこで	居室 中庭	フロア 廊下	備考	
どうした	日々の気づきをこのシートに 書き込むことで、 スタッフの観察力UP!			